

ただいま、全国市議会議長会表彰並びに北信越市議会議長会表彰を受彰されました、7名の議員各位には、心よりお祝い申し上げます。

今後とも、ご健勝でさらなるご活躍をいただきますようご期待申し上げます。

本日、ここに平成24年第2回市議会定例会が開会されるにあたり、最近の市政の状況と提案いたしました諸議案につきまして、その大要をご説明申し上げます。

はじめに、最近のわが国の経済情勢についてであります。景気は、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として、底堅く推移しております。

しかしながら、先行きにつきましては、欧州債務危機の再燃が懸念されており、これらを背景とした金融資本市場の変動や海外景気の下振れ等によって、我が国の景気が下押しされるリスクが存在しており、電力供給の制約や原油高、世界的な株安と円高・ユーロ安、さらには、デフレの影響等にも注意が必要であります。

このような経済情勢の中ではありますが、本市立地企業の企業業績は、概ね回復傾向を示しており、平成23年度の法人市民税は、前年度を3億円余り上回って収入できる見込みであります。

本市といたしましては、本年度開設した東京事務所を活用し、国関係機関等からの、いち早い情報収集に努めるとともに、企業誘致や観光誘客などに向けての情報発信について、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、「安心して生活できる環境の整備」についてであります。

先月、地震津波に関する石川県地域防災計画の見直しが行われました。これを受けて、本市の計画見直しにおいても、東日本大震災を教訓として、情報伝達や避難体制の確立など、住民の生命と財産を守ることを最優先とした見直しを行ってまいります。

また、4月には県津波浸水想定区域図の見直しが行われましたので、「どこに

浸水の恐れがあるのか、どう避難するのか」などを市民の方々に具体的にお示しするため、津波警戒区域の設定とともに津波ハザードマップの作成に向けて、現地調査を行っているところであり、また、先月には、松任・美川地域のすべての2次避難施設に標高を表示したところでもあります。

次に、白山の火山噴火対策につきましては、石川・岐阜の両県知事が、避難計画などについて協議を行う「火山防災協議会」を年内に設置することを表明いたしました。

本市といたしましても、住民や登山者等の安全を確保するため、この協議会に参画し、関係機関と十分に協議してまいりたいと考えております。

次に、志賀町との災害時の応援協定の締結についてであります。

地方自治体は、関係機関並びに他自治体の協力を得て、防災対策を講じていく責務があります。防災に関するノウハウをお互いに共有し、より広範な協力体制の確立により、防災対策の充実を図るため、先月、志賀町との「災害時等の相互応援に関する協定」を締結いたしました。この協定締結を契機として、観光、文化、教育などについても両市町が交流を深め、災害時にはスムーズに、相互に受け入れができる体制を作ってまいりたいと考えております。

なお、来る九日には、石川県原子力防災訓練が行われる予定であり、今回は、新たに避難等措置訓練として、金沢市立港中学校を会場に避難所や救護所の開設、運営が行われます。本市もこの訓練に参加し、志賀町からの住民を受け入れる避難所を設置することといたしております。

次に、「四季の変化と多様な資源に富む自然環境との共生」についてであります。

本年は、白山国立公園指定50周年記念の節目の年にあたり、先月26日には、環境省、石川県とともに「いしかわキックオフイベント」と銘打ち、中宮温泉ビジターセンターの展示リニューアルオープンや自然観察会、白山スーパー林道ウォークなどを開催いたしました。

このイベントを皮切りに、様々な記念事業を通して、素晴らしい白山の自然や

文化をより多くの方々に知っていただきたいと願っております。

また、11月には、本市で記念式典を開催する予定であり、環境省をはじめとして4県6市1村から多くの関係者をお迎えし、本市の魅力を広く発信していきたいと考えております。

さらに、「小中学生白山登山推進事業」につきましては、市内小中学生を対象とした宿泊料金助成制度を大いに活用していただき、これからの登山シーズンに向けて、多くの方々が白山に登って頂くことを期待をいたしております。

また、今年17日には、北信越高等学校自転車競技選手権大会ロード・レース種目が、バードハミング鳥越周辺特設コースにおいて開催されることから、北信越5県から集まる選手の皆様に、温かいご声援をお願いしたいと思っております。

次に、白峰地区の重要伝統的建造物群保存地区への選定についてであります。

先般、国の文化審議会において、文部科学大臣に選定をするよう答申がなされたところであり、7月には正式決定となります。今後は、記念事業を開催するなど、広く市内外に発信してまいります。

また、現在、白峰地区の方々が観光客を温かく迎える「おもてなし^{りよく}力向上計画」を策定しており、白山ろく地域の観光拠点として磨きをかけるため、市としてもこの計画を支援し、交流人口の増大を図ってまいりたいと考えております。

このような文化やスポーツ、自然環境を活かした様々な施策を通して、白山ろく地域の振興と活性化を図るため、鋭意取り組んでまいりたいと考えております。

次に、観光誘客に向けた観光組織の強化についてであります。

平成26年度末の北陸新幹線金沢開業を視野に、現在、「白山ブロードウェイ構想」のもと、新たな観光ビジョン5ヶ年計画の策定を進めております。

この構想では、市内の観光資源を集約し、再構築してつなぐことにより、魅力あるジオツアーなどを広く旅行会社や観光客に発信するための「白山市観光プラットフォーム」の立ち上げが急務となっております。

この「観光プラットフォーム」の中で、白山手取川ジオパークや白峰地区重要伝統的建造物群保存地区など、豊かで個性的な観光資源を発信してまいりたいと考えております。

そのためには、行政と商工会議所等の経済団体、市観光ボランティアガイド協会や市観光物産協会等の官民が連携した「観光プラットフォーム」づくりが最優先課題と考えており、今後、関係団体と協議・調整を進めることといたしております。

次に、「利便性が高く住み良い快適なまちづくり」についてであります。

北陸自動車道白山インターチェンジと金沢外環状道路海側幹線が、4月21日に供用を開始しました。これにより、周辺工業団地のアクセス強化、広域交流の促進が図られるものと考えております。

開通直後には、本線や一部周辺道路において渋滞が発生しましたが、速やかに交通量調査を実施し、信号機の時間調整など可能な対策を講じたところ、開通一ヶ月半を経過した現在では、全体的に落ち着きを見せております。

なお、一部対面通行の区間がありますが、一日も早い四車線供用が行われるよう、県に対し強く要望しているところであります。

また、北陸新幹線白山総合車両基地の整備に伴う、道路の地下道化整備事業につきましましては、県道松任美川線と市道成北安田線が来月2日に、供用できる予定となっております。

次に、かねてより進めてまいりました松任、美川、鶴来の各都市計画は、今月5日に白山都市計画として統合いたしましたところであり、これに併せて、松任地域の市街化区域を拡大するとともに、美川、鶴来地域につきましましては、新たに市街化区域と市街化調整区域に区分いたしました。

今後とも、秩序ある土地利用と、本市にふさわしい良好なまちづくりを進めてまいる所存であります。

次に、松任駅前を中心とした賑わい創出事業についてであります。

一流の演奏家によるクラシックコンサートの開催と駅前の賑わい創出を目的に、4月28日から5月4日にかけて、「熱狂の日」音楽祭と、その関連イベントを駅周辺文化施設や松任城址公園において開催いたしました。期間中、ロシア、イルクーツク五重奏団をはじめとして、16イベント、48の公演を開催し、市内外から延べ11,000人余りの方に、ご来場をいただきました。

今後も、「文化創生都市」として、優れた芸術に触れる機会の提供などを通じ、文化を活かしたまちづくりを推進してまいります。

次に、公立保育所民営化の進捗状況についてであります。

本年4月に、石川保育所及び蝶屋保育園が社会福祉法人による運営へ移行したところではありますが、この度、ひかり保育所及び蕪城保育所におきましても、それぞれ地元において法人を設立し、来年4月から民営化することについて、関係者の合意をいただいたところであります。

なお、その他の地区におきましても、引き続き民営化に向けての協議・調整を進めており、地域のご理解をいただいたところについては、来年度からの民営化に移行できるよう努めてまいります。

次に、行財政改革に向けての取組みについてであります。

現在、第2次行財政改革大綱に基づき、定員管理の適正化や事務事業の見直しについて取り組んでいるところであります。

特に、公共施設の統廃合及び管理見直し方針に基づく、平成24年度実施計画案については、現在「統廃合・処分」とした施設について、民営化、用途変更、地元譲渡などの方策を検討し、そのほかの施設についても、施設管理費の適正化に向けて、指定管理の導入や管理運営費の見直しなどを進めております。

今後は、実施計画案について、市議会をはじめ地元関係団体等への説明、協議を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

次に、平成23年度決算見込についてであります。去る5月31日をもって出

納を閉鎖し、現在、計数整理中ではありますが、一般会計の歳入においては、市税、国・県支出金等が確定いたしました。歳出におきましては、各種事務事業の効率的な執行に鋭意努めてきた結果、実質収支で9億円余りを平成24年度に引き継ぐ見込みであり、観光事業特別会計を除き、おおむね健全財政を維持できる見通しとなっております。

なお、観光事業特別会計につきましては、今年度中に繰上充用金を全額解消し、来年度より一般会計に移管する予定としております。

それでは、提案いたしました諸議案について、ご説明申し上げます。

提出案件は、補正予算案3件、条例案8件、事件処分案6件、専決処分の承認にかかるもの9件、報告案件5件の計31件であります。

はじめに、議案第63号から第65号までの平成24年度補正予算案についてであります。

まず、一般会計につきましては、その主なものとしまして、先程申し上げました新たな観光ビジョン「白山ブロードウェイ構想」の策定作業を鋭意進めており、本年9月から11月にかけて、『うらら^{はくさんびと}白山人「^{あきまつり}秋祭」』と銘打った事業を実施してまいります。

これは、各地域の秋祭りや、ふれあい市などのイベントを再構築してつなぎ、より集客力を高めることを目指すとともに、観光客サイドに立った新たなホームページを立ち上げ、「うらら^{はくさんびと}白山人」を市内外に広く発信し、誘客を図るための施策として、その所要経費を計上いたすものであります。

教育費では、明光小学校改築事業の進捗を図るため、グラウンドの敷地造成経費や整備工事費等に係る所要の経費2億4,100万円余を計上いたします。

また、昨年度の大雪及び4月3日の暴風に伴う公共施設等の災害復旧につきましては、加賀野公民館の屋根改修工事費等に、所要の復旧経費を計上いたしております。

特別会計における補正としましては、観光事業特別会計については、の दौर

ゲレンデ高圧ケーブルの更新費用を計上するものであり、温泉事業特別会計では、めおと岩温泉源泉管理棟の修繕費を計上するものであります。

次に、議案第66号から第73号までの条例案につきまして、その主なものをご説明申し上げます。

「白山市債権管理条例」の制定につきましては、市が保有する債権の適正化と滞納額の縮減を図るため、市の債権管理に関し必要な事項を定め、健全な行財政運営の確保を目指すものであります。

「白山市印鑑条例の一部を改正する条例」及び「白山市手数料条例の一部を改正する条例」等につきましては、7月9日に外国人登録制度が廃止され、外国人が日本人と同様に住民基本台帳法の適用対象となることに伴い、それぞれ所要の改正を行うものであります。

次に、議案第74号から第79号までの事件処分案につきまして、その主なものをご説明申し上げます。

「市道路線の認定及び変更並びに廃止」につきましては、道路法の規定に基づき、「財産の取得」につきましては、明光小学校改築事業の用に供するため、土地を購入することについて、それぞれ議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第80号から第88号までの専決処分の承認について、その主なものをご説明申し上げます。

「白山市税条例の一部を改正する条例」等につきましては、関係法令の改正に伴い、所要の改正を行ったものであります。

また、補正予算の専決処分の承認につきましては、平成23年度の一般会計補正予算におきまして、国県支出金や市債等の額の確定、各特別会計への繰出金の調整のほか、事業の完了に伴う決算見込みをもとに14億6,580万円余の減額補正を行ったものであり、その結果、平成23年度一般会計予算の総額は520億4,031万円余となったところであります。

次に、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険事業など、それぞれの特別会計につきましては、事業費の確定に伴う減額補正や財源更正等を行ったものであります。

次に、報告第1号から第5号までの報告案件について、その主なものをご説明申し上げます。

平成23年度の一般会計繰越明許費繰越計算書につきましては、朝日小学校改築事業費など計19事業について、また、事故繰越し繰越計算書においては、同報系防災行政無線整備事業費について、それぞれ繰越額並びに財源内訳を議会に報告するものであります。

また、白山市土地開発公社及び財団法人白山市地域振興公社の平成23年度経営状況につきましては、地方自治法の定めにより、それぞれ議会に報告をするものであります。

以上をもちまして、今期定例会に提出いたしました議案の説明を終わりますが、何卒慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願いいたします。